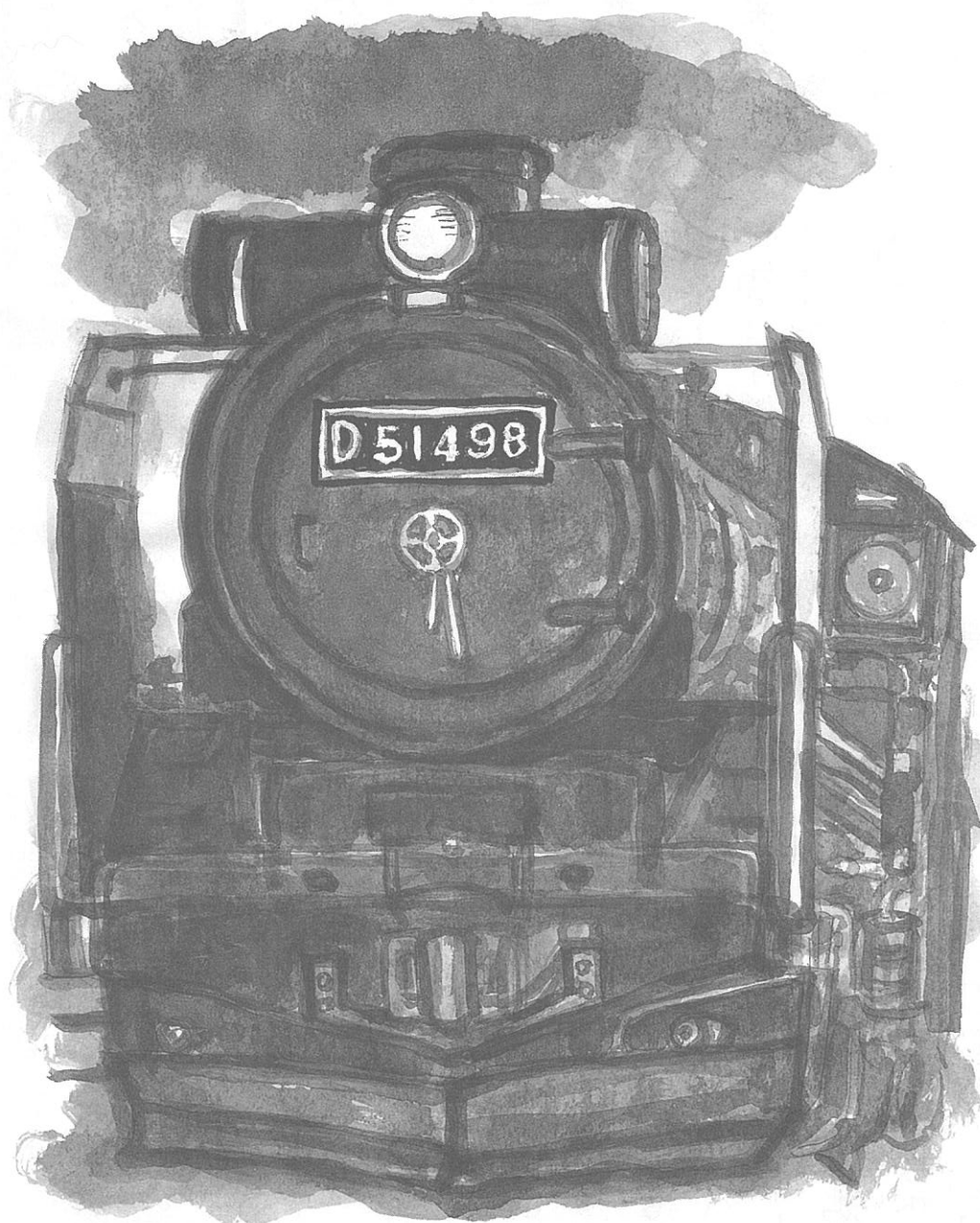


おかげさん

73号
真宗大谷派
高德寺通信



助かるということは、居場所を
与えられるということである

— 金子大栄師のことは —

最近友人から『^{けんがい}圏外孤独』という造語を
教えてもらいました。これは、身寄りがなく
ひとりぼっちであるさまをあらわす四字熟
語『^{てんがい}天涯孤独』をもじったものです。携
帯電話による交流が絶たれた孤独な状
態を言うそうです。自分が圏外にいると、
メールの返信が出来なくなり、仲間はすれ
にされ、孤独になってしまうのではないか……
と怯^{おそ}えてしまうのです。電波で仲間とな
がっているという安心感が、自分だけが取
り残され、排除されるのではないかという
不安を生み出してしまっているのです。たとえ大

都会でも、そこが圏外ならば、自分の
居場所を失い、孤独になっていきます。
「歩きスマホ」が社会問題になっていま
すよね。いろいろな人とつながりを続
けていくには、仕事中でも、歩きながら
でも、返信をしない訳にはいかない
のかもしれない……。ネット社会は一
見、他者とつながることが出来るコ
ミュニケーション能力を獲得出来たよ
うに見えますが、現代における人
間の心の闇を深めて行っているよ
うに思えてなりません。ツイッターや
ブログ、フェイスブックなど、コミュニケー
ションが多様化している一方、実生活
で自らをさらけ出せる場所がなか
なか見出せないのではないのでしょうか。
“居場所”とは、私がここに生きている
ということに意味が与えられる。そう

いう関わりが開かれているところをいうのだと思います。寺の仏事：法事や春秋の彼岸の時は、境内や墓地で小さな子どもさんが駆け回り、遊んでいる光景をよく目にします。先日、2才くらいの門徒さんのお子さんが境内でころんでしまいました。親御さんが駆け寄り、「あー、痛かったねエ。大丈夫かい？」と言って抱きしめると、その子は大声で泣き出しました。ここでは、思いつき泣いてもいいんだ。泣ける場所なんだ。ということは無意識のうちに感じているのだと思いました。これは、その子にとって、救われた、自分の居場所を与えられたということなのでしょう。それと同様に、阿弥陀如来は、我々をそのまま引き受け、無条件に居場所となってくださいます。辛いときも、悲しいときも、苦しいときも、迷ったときも、そのまま

に引き受け、「なんまんだぶつ」と私の口からお念仏となって、はたらきかけ居場所となってくださる。私たちはなかなか気がつきませんが、もう実は阿弥陀如来の「救い」の真^ま只中^{ただなか}にあるのです。親が子どもを案じ、見守るように、阿弥陀如来はいつもはたらきとなって、私たちに寄り添ってくださるのです。

どんな人も「居場所」が無くなったら生きていけない存在です。その居場所が与えられているということとは本当に有ること難しなことなのです。私という存在を認めてもらった時、嬉しく思います。温もりの中に居場所がある。それを感じた時、人は生きていけるのではないのでしょうか……。

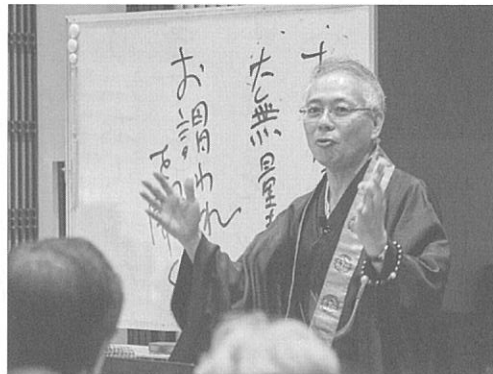
報恩講嚴修

ほう おん こう ごんしやう

海法龍先生

2015年10月24日(土)、爽やかに晴れ渡った空のもと、高德寺報恩講が厳修されました。

今年から、横須賀・長願寺のご住職、海法龍先生に佛法話をしていただくことになりました。講題は「南無阿弥陀仏に生きる」親鸞聖人の御意(ごい)（法話は別冊で紹介させていただきます）でした。沢山のご門徒、有縁の方が参詣されて、ご一緒にお勤めの出来ましたこと、大変嬉しく思っております。簡単ですがご報告させていただきますました。



◆ 海先生の熱いお話しに全員引き込まれていく。



◆ 正信偈が本堂に響きわたる...

住職が本山(京都・東本願寺)の報恩講の結願(けつがん)日中法要(にちちやう) (親鸞聖人のご命日、11/28の最終の大法要)に出仕して参りました。当日は満堂で聖人の真横から真近で「板東曲」を味わうことが出来ました。

【板東曲】...僧侶が上体を揺らして念仏を称えたり、和讃をお勤めする。親鸞聖人が越後へ流罪になる際、荒波に揺れる舟の中で、一心に念仏を称えられた話に由来する。11/28の日中法要のみに勤められ、真宗大谷派だけのお声明である。



『修正会』

を

2016年
1/1
10:00~

ご一緒にお勤めいたしましょう。

修正会とは一年で一番最初のお参り

です。蓮如上人は「あらたまの年のはじめ

は祝うとも、南無阿弥陀仏のころゆす

るな」と、自分の口から称えるお念仏

があつてこそ、新年が本当の新年に

なると教えてくださっています。阿弥陀

さまをはじめ、お浄土に還(かえ)っていかれた

自分にとって大切な方々は、いったい何を

願われているのだろうか？？又、我々

すべての人間の奥底にある誰にとつて

も共通の「本当の願い」(本願)とは

いったい何なのか？？と、いうことを問い

ながらご一緒にお念仏して参りましょう。

一月一日の十時より高德寺本堂にてお

勤めいたします。平服にてご参詣ください。

《真宗入門講座》のご案内

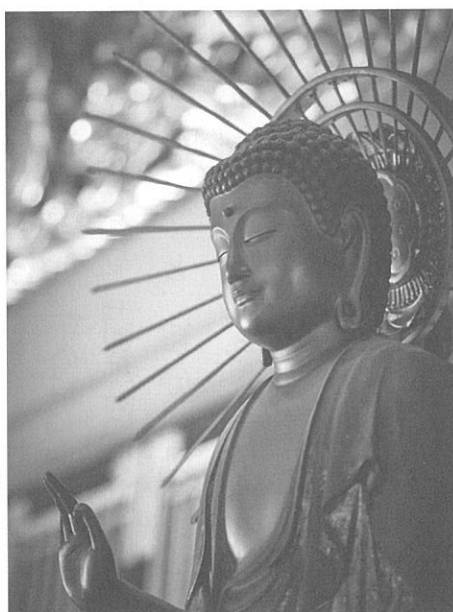
- ◆日時：2016年 2月 8日(月)~ 10日(水) [2泊3日]
- ◆場所：真宗会館 (練馬区谷原1-3-7 ☎ 03-5993-0810)
- ◆講師：近田昭夫 先生 (東北・顕真寺前住職)
- ◆テーマ：「素人感覚が大切 - 「なぜ」と問うこと。」
- ◆参加費：15,000円 (宿泊、食事、研修冥加金 ほか)

2泊3日、師と友と寝食を共にしながら、親鸞聖人の教を聞いて参りましょう。3日間 高德寺住職も幹事として参加いたします。参加希望の方は住職までご連絡を!!

仏法って聞いたことありますか？
じっくりと時間をかけて自分と向き合ったことありますか？
最近新しく友達出来ましたか？

写真家の飯島見峰さんより…

高德寺のご本尊「阿彌陀如来像」の写真（パネル仕立て）を寄贈していただきました。本堂内陣のご本尊は外陣からですと距離もあり、真近でじっくりと拝見することが難しいです。是非、やさしいお顔をご覧ください。（玄関ロビーにあります）



◆ご修復時、外陣におざがりの時に撮影しました。

佐々木治子さんより、お磨き用のタオルを頂戴いたしました。大変助かります。有り難うございました。

おみぐき御礼

海東 雅子さん	河津 三和子さん
清水 和美さん	菅原 千恵子さん
崇島 暁美さん	近松 とよ子さん
塚田 和子さん	塚田 太郎さん
寛谷 恵美子さん	古谷 紀代美さん
水越 拓路さん	水越 和子さん
山内 貞子さん	(あいづお順子)

～ 2015年 9月6日(日) 本堂にて ～

※ 今後の“おみぐきの会”の予定

2015年	2016年
12/27(日)	3/6(日) 7/3(日) 9/11(日) 12/25(日)

12月は“望年会”を開きますので、参加希望の方は住職まで連絡ください。

高德寺の阿彌陀さまは“室町時代の木製”と伝えられています。経年変化により金箔が剥がれ落ちて、まるでブロンズ像のような（お顔や胸）印象を受けます。

カンパ 御礼

心機
いたしまして
感謝ですう～!

岩崎 英之さん	江守 敏雄さん
鈴木 新一さん	鈴木 みさをさん
飯島 正さん	小野寺 経年さん
大槻 宏子さん	神野 くらさん
永川 淳子さん	稲葉 代子さん

2016 ねん

高德寺年中行事

10月

- ◆ 報恩講 (10月22日(土))
ご法話の講師は海法龍先生です。お誘い合わせの上、ご参詣ください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑩ (10月1日(土))

11月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑪ (11月12日(土))

1月

- ◆ 修正会 (1月1日)
しゅうしえ
10時より本堂にて勤まります。お誘い合わせの上、平服でお参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間① (1月23日(土))

2月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間② (2月27日(土))

9月

- ◆ おみけきの会 (9月11日(日))
- ◆ 秋彼岸会 (9月19日~25日)
9月22日(秋分の日)の11:30より本堂にて法要が勤まります。お参りください。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑨ (9月3日(土))

12月

- ◆ おみけきの会 (12月25日(日))
終了後、寺にて「望年会」をいたします。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑫ (12月17日(土))
「望年会」を予定しております。

3月

- ◆ おみけきの会 (3月6日(日))
- ◆ 春彼岸会 (3月17日~23日)
3月20日(春分の日)の11:30より本堂で永代経の法要が勤まります。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間③ (3月12日(土))

8月

- ◆ 「シャクソング・ライブパーティー」
8月21日(日) 高德寺地下ホールにて。
※ 寺ヨガ・寺子屋はお休みします。

4月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間④ (4月2日(土))

7月

- ◆ おみけきの会 (7月3日(日))
- ◆ 盂蘭盆会 (7月13日~16日)
うらぼんえ
- ◆ 合同新盆法要 (7月10日(日))
にいぼん
- ※ 新盆にあたるお宅にはあらためてご案内いたします。
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑦ (7月23日(土))

6月

- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑥ (6月25日(土))

5月

- ◆ 旅行会 (5月23日(月)~25日(水))
九州(博多・唐津方面予定)の旅を予定しております。
※ 詳細は74号(鶴)で...
- ◆ 寺ヨガ・寺子屋の時間⑤ (5月28日(土))

あとかぎ

高德寺の現在の

本堂は、33年前に門信徒
ならびに有縁の方々のお力をいた
だいて建立されました。私が17
歳の時でした。それ以来、今日まで
二代を経て皆で力を合わせて
高德寺をおあずかりして参り
ました。これからも門信徒の皆様
様の「居場所」となるように、
又、念仏の道場として、ご一緒
に仏法を聴聞して参りたいと
思っております。寺の維持のため
維持費を33年ぶりに改定させ
ていただきました。ご協力の程、宜
しくお願いいたします。

釋義祐



発行日 2015.12.19

発行 真宗大谷派 高德寺

編集 住職 新井義雄
(去名: 釋義祐)

『愚かな身に歸り切れないから生き方も定まらない』

〒164-0002 (宗正元氏のこぼれ)
東京中野区上高田1-2-9

☎ 03-3368-6947

FAX 03-3362-8019

HP www.koutokuji.or.jp

※表紙の絵 『D51機関車』 (2016年、住職は51歳になるので 語呂合わせです...)